

## 「学校に行きたくない」という子 その2

### 子どもの訴えに、どう対応するか



学校ではこの時期、運動会や文化祭等の行事が多くあります。濃密な時間を過ごした疲れが一因となり、毎年、10月から11月にかけて、登校しぶりや不登校の相談が増えます。

登校をしづりだすとご家庭ではどうしてよいか困ります。今号では、子どもたちがあげる理由ごとに、初期対応について考えてみました。

#### 1. 体調不良を訴える子

- ・頭が痛い
- ・お腹が痛い
- ・気持ちが悪い 等

まずは病院へ行き、身体的な病気がないか確かめましょう。その上で、いやなことがないか、ゆっくり話を聞き、出来る範囲で原因を取りのぞきましょう。家では叱ることを減らして、安心して過ごせるようにすることも大切です。

#### 2. 先生や友だちとうまくいかない子

- ・先生が怖い
- ・友だちと仲良く出来ない
- ・友だちがいじめ 等

どういう時に、どんなことが起きて、どう思ったのか具体的に聞いてみましょう。事実がどうかよりは、子ども自身がどう受け取っているのかを聞いてあげましょう。その上で、どのようなことが出来るのか、先生に相談してみましょう。

#### 3. 苦手なことがある子

- ・宿題ができていない
- ・勉強が分らない
- ・給食が嫌い 等

宿題や、やらなくてはならないものがある場合は、就寝前に確認しておきましょう。勉強や給食については、先生に学校の様子を尋ねて対応を考えましょう。

#### 4. 理由がわからない

- ・聞いても、何も言わない
- ・朝、起きてこない
- ・何となくいや 等

学校や家庭に、不安や心配事がないか見直して、安心して過ごせる環境にしましょう。



どんな理由でも、子ども自身が困っているサインですので、無理強いはいけません。

どこで・だれと・どれくらい居られるかなどの話し合いをして、無理がない範囲で登校させましょう。

不登校の初期においては特に、学校との連携が大切です。